

2018 C 日程 LS [0217]

受験番号

2018 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験

商 法

(60分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 商法

【問題】

以下の【事例】を読んで、〔設問1〕〔設問2〕に答えなさい。

【事例】

A社は、発行済株式総数1,000株の株式会社であり、取締役会設置会社であるが、種類株式発行会社ではない。A社の定款には、次のような規定がある。

7条 当社の発行する株式については、株券を発行するものとする。

8条 当社の発行する株式の譲渡による取得については、取締役会の承認を受けなければならない。

〔設問1〕

平成30年1月22日、それまでA社の株主名簿上の株主であり、A社株式300株（以下「本件株式①」という。）を有していたBは、本件株式①をA社に無断でCに譲渡し、本件株式①に係る株券をCに交付した。平成30年2月15日、Cは、A社に対し、本件株式①に係る株券を提示して、本件株式①に係る株主名簿記載事項を株主名簿に記載することを請求した。A社は、Cの請求を拒むことができるか。

〔設問2〕

平成30年1月22日、それまでA社の株主名簿上の株主であり、A社株式400株（以下「本件株式②」という。）を有していたDは死亡し、Dの唯一の相続人であるEが本件株式②を相続により取得した。平成30年2月15日、Eは、A社に対し、本件株式②に係る株券を提示し、相続を証する書面を提供して、本件株式②に係る株主名簿記載事項を株主名簿に記載することを請求した。A社は、Eの請求を拒むことができるか。